日 絹 月 報

平成 21 年 10 月号 第 391 号

発行：社団法人日本絹人織織物工業会

日本絹人織織物工業組合連合会

Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

本号の主なニュース

1. 化合織織物・絹織物の合同会議開催
2. JFWジャパン・クリエーション2010A/W閉幕
3. テックスワールド・パリ開催
4. 生糸先物取引の廃止について
5. 地域別最低賃金額の改定について

◇ 当会化合織織物部会、絹織物部会、先染・後染化合織織物専門
委員会合同会議の開催 ◇

平成21年10月7日、JFW・ジャパングリエーション2010A/W展示場内商談室において、本会の化合織織物部会、絹織物部会、先染・後染化合織織物専門委員会合同会議が開催された。まず各部会委員長の任期満了に伴う互選が行われ、絹織物部会委員長に西陣組合の渡邊理事長(重任)、化合織織物部会委員長に石川組合の山本理事長(新任)が選出された。次いで、テキスタイルコーディネーター車純子氏による講演(テーマ:「日本の素材の目指す先—小さな提言」)が行われた。

講演では、日本の素材は、今世界から注目され、追われる立場に位置する。一方で世界に冠たる原糸メーカーはコスト競争から国内生産はもちろん繊維事業からの撤退する方向が見えてきた。このような環境の変化の中、日本の産地、機屋、テキスタイル業は、今後どのように対応していくのか。今のアパレルはOEMに慣れすぎて単独では素材を選べない。本当のお客は誰なのか。素材は誰に売するのか。など現状を踏まえ、①創るには世界が認める開発力、②売ることには専門家の力、③売り先相手としては小規模なアパレルや商社・生地商社へのアプローチが必要。また、国内に拘わらず世界へアピールすることも忘れてはならない。と提言した。

また、プルミエールビジョンやテキックスワールドの海外展示会での最新情報の解説が行われた。車氏の情報によるとプルミエールビジョンの来場者は約56,000人。出展企業は682社(31カ国)で、国別内訳はイタリア330社、フランス89社、トル

コ43社、英国32社、スペイン32社、日本27社、ポルトガル25社、ドイツ22社、韓国20社、台湾+中国10社。一方、テックスワールドの来場者数は約15,000人、出展企業は768社で、国別内訳は中国278社、台湾75社、トルコ75社、インド74社、韓国60社、香港45社などで、こちらは中国+台湾+香港で全体の過半数を占めており、アジア色が一層強くなっている。

◇ JFWジャパン・クリエーション2010A/W開幕 ◇

世界に向けて“ジャパン・クオリティ”のテキスタイルを発信するJFWジャパン・クリエーション2010A/Wが、10月7日から9日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト西1～2ホールで開催された。

今回は、昨年を上回る出展件数とともに、JFWにおける「創・匠・商」の連携、いわゆる事業間連携のプログラムが盛りこまれた。出展の内訳は、ビジネス・テキスタイルゾーンが85件、プロモーションゾーンが280件、クリエイターズビレッジが5件であった。今年のトレンド・インデックス・コーナーのメインテーマは「違和感と獨創性」で、150社から1,120点を展示。また、エコ・テキスタイルには42の企業171点を紹介し、デザイナーコラボ。さらに内容を一新したBest of TA・KU・MIをはじめ、産学連携のJAPAN Tex-Promotion【FORM PRESENTATION】、クリエイターズビレッジ、フォーラムなど、これまで以上に多彩な企画になった。

台風の影響で出足が心配されたが、初日と最終日は活気に包まれた。当会は初めての大型出展スペースで、「Silk&Synthetic」と題して相乗効果を高めるためフェアインフェア形式を採用し、シルク化合繊の6産地（福島、桐生、八王子、福井、小松、西陣）から43社・団体が出展した。

次回については、出展者からのアンケート調査結果やご意見を踏まえて検討する。

来場者数

	1日目 4/8(水)	2日目 4/9(木)	3日目 4/10(金)	合計
アパレル(特別ご招待含む)	2,121	3,047	2,754	7,922
小売	396	445	416	1,257
問屋・商社・企画会社	2,401	3,115	2,672	8,188
一般	1,351	980	1,094	3,425
プレス	52	29	31	112
海外	55	37	45	137
合計	6,376	7,653	7,012	21,041

◇テックスワールド・パリ開催◇

国際見本市テックスワールドが9月14日から17日の4日間、パリ郊外のル・ブルジェにおいて開催された。

出展企業は768社(25ヶ国)、来場者数は約15,000人で、主な国別内訳は中国278社、韓国60社、トルコ75社、台湾75社、インド74社で、日本からは当会を含む7者1団体が参加した。本会からは福島、桐生、石川、福井の4産地18企業約500点を展示し、新しい販路開拓を求めて共同出展した。期間中の日絹ブースへの来場者は73社、内訳はアパレル34、問屋17、小売4、その他11、プレス7で、国別内訳は、開催地フランスをはじめアメリカ、フランス、イタリア、イギリス、トルコ、オランダ、スペイン、ポルトガル、ノルウェー、デンマーク、台湾、レバノン、ルワンダなど。来場した著名企業・ブランドとしてはGerard Darel、Calvin Klein、Cymbeline、M&S/per una、C&A ドイツ、桂由美インターナショナルなど。(参考：プレス大手、仏FashionDailyNews、織研、日織、ダイセン)

◇ 生糸先物取引の廃止について ◇

東京穀物商品取引所は10月1日からの生糸先物取引を停止した。

今年2月の生糸の運営委員会で長期低迷が続く生糸先物取引について、廃止または休止の検討がなされ、経過を見守っていたが、9月末時点で建玉がない為、10月1日から取引を停止することになった。今後、取引所は11月1日から株式会社への組織変更を行う予定で、正式な生糸の上場廃止は組織変更に伴う定款・業務規程の変更等に併せて行われる。これにより1894年(明治27年)から115年間の長きに亘り産業インフラとして一定の成果を上げてきたが、その社会的使命は終焉を迎えることになる。

取引所の生糸上場廃止理由は次のとおり。

- ① 和装需要の減退や安価な生糸・二次製品の輸入増大による生糸価格の下落と養蚕農家、製糸工場の減少による国内産収繭量の低落傾向に歯止めがかからない状況。
- ② 平成18年の大手着物販売業者の相次ぐ倒産による(関連業界も含めた)市場規模の縮小やその影響による消費者の和装離れが一層加速。
- ③ 生糸輸入の関税割当制度移行により実質自由化(関税無税)になったものの、燃糸の自由化により今後生糸の輸入拡大は見込めない。
- ④ 先物営業への厳しい規制やリーマンブラザーズ倒産後の金融危機の影響から、商品先物市場への投下資金、市場参加者は急激に減少しており、商品先物会社の経営状況は非常に厳しい。
- ⑤ 明治・大正・昭和と日本経済を牽引していた蚕糸業であるが、現在では相対による少量ロットの取引が中心で今後ヘッジニーズの増大は見込めない。

◇地域別最低賃金額の改定について◇

このたび、厚生労働省から地域別最低賃金額の改定について周知方の依頼がありましたのでお知らせします。

45 の都道府県労働局において、地域別最低賃金を改定し、平成 21 年 9 月 30 日から 10 月 31 日までの間に順次効力が発生します。最低賃金制度とは、最低賃金法に基づき国が賃金の最低限度を定め、使用者は、その最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければならないとされている制度です。仮に最低賃金より低い賃金を労働者、使用者双方の合意の上で定めても、それは法律によって無効とされ、最低賃金額と同様の定めをしたものとされます。したがって、最低賃金未満の賃金しか支払わなかった場合には、最低賃金額との差額を支払わなくてはなりません。また、地域別最低賃金額以上の賃金額を支払わない場合は、罰金(50 万円以下の罰金)が定められています。

経営者の皆様におかれましては、貴社の労働者の賃金額が決して地域別最低賃金額を下回ることはないよう、金額をご確認ください。

平成 21 年度地域別最低賃金改定状況

都道府県名	最低賃金時間 額 【円】
北海道	678 (667)
青 森	633 (630)
岩 手	631 (628)
宮 城	662 (653)
秋 田	632 (629)
山 形	631 (629)
福 島	644 (641)
茨 城	678 (676)
栃 木	685 (683)
群 馬	676 (675)
埼 玉	735 (722)
千 葉	728 (723)
東 京	791 (766)
神奈川	789 (766)
新 潟	669 (669)
富 山	679 (677)
石 川	674 (673)
福 井	671 (670)
山 梨	677 (676)
長 野	681 (680)

岐 阜	696 (696)
静 岡	713 (711)
愛 知	732 (731)
三 重	702 (701)
滋 賀	693 (691)
京 都	729 (717)
大 阪	762 (748)
兵 庫	721 (712)
奈 良	679 (678)
和歌山	674 (673)
鳥 取	630 (629)
島 根	630 (629)
岡 山	670 (669)
広 島	692 (683)
山 口	669 (668)
徳 島	633 (632)
香 川	652 (651)
愛 媛	632 (631)
高 知	631 (630)
福 岡	680 (675)
佐 賀	629 (628)
長 崎	629 (628)
熊 本	630 (628)
大 分	631 (630)
宮 崎	629 (627)
鹿児島	630 (627)
沖 縄	629 (627)
全国加重平均額	713 (703)

注 1 : 括弧書きは、平成 20 年度の地域別最低賃金額。

2 : 新潟と岐阜は、平成 21 年度の改定はおこなわれなかったため、前年度の金額度
同じとなる。

◇ 「調査票提出促進運動」に関する広報依頼について ◇

経済産業省が実施する各種統計の集計結果は、我が国の経済、産業の動向を示す基礎資料として広く各方面で利用され、また、その重要性もますます高まっています。

つきましては、統計調査に対する国民各位の一層の御協力をいただくため、当会に対して、発行誌及びホームページ等に、「調査票提出促進運動について」の掲載と会員会社への調査協力要請がありましたのでお知らせ致します。

なお、「調査票提出促進運動」は、「統計の日」（10月18日）を基点として統計の普及・啓発のための広報活動の一環として実施するものです。

「調査票提出」の協力依頼について

経済産業省経済産業政策局調査統計部

経済産業省経済産業政策局調査統計部が実施する各種統計調査につきましては、平素より御協力頂き、厚く御礼申し上げます。

皆様から提出された調査票は、当部において集計・加工・分析をした上で公表され、国や地方公共団体の行政施策の基礎資料、商工鉱業における企業経営資料として、さらには諸研究のための貴重なデータとして広く利用されております。また、社会経済の急激な変化や国民生活の多様化などに伴い、経済活動の現状を正しく見極める指標として、統計の果たす役割は一層重要性を増しております。

しかしながら、調査を取り巻く環境の悪化により、調査票の未提出、提出期日遅延、記入漏れ等の増加により、調査の使命である信頼性の高い調査結果を早期に公表するということが困難な状況にあります。

このため、経済産業省では、調査環境の変化に対応した調査内容の見直し等により報告者の記入負担の軽減に常々努めるとともに、調査対象企業・事業所に御理解と御協力を得つつ、調査を円滑に実施するため、各事業団体加盟の調査対象企業・事業所のうち調査票の未提出等の事業所等の事業所に対して改めて調査票提出の依頼を行う「調査票提出促進運動」を毎年「統計の日」（10月18日）を中心として実施しております。

調査を取り巻く環境が悪化する中、より精度の高い統計を作成するためには、皆様の御協力により正確な調査票を所定の期日までに提出していただくことが何にもまして重要であります。

引き続き皆様方の御理解を賜り、調査票の提出に御協力くださいますようお願い申し上げます。なお、現在利用されています新世代統計システムは、政府統計オンライン調査システムへ移行するため、平成22年2月に使用停止となります。政府統計オンライン調査システムへ未移行の皆様につきましては、早期の移行にご協力をお願い申し上げます。※政府統計オンライン調査システムについては、経済産業省ホームページで紹介していますので、ご覧ください。

URL：<http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>

動 向

- 9月28日 第5回日韓繊維F T A 推進委員会
- 10月 2日 全国中央会組織専門委員会
- 10月 7日 当会絹織物部会・化合織物部会・専門委員会合同会議
- 9日 第3回日・インドネシア産業協力WG及び織産連主催歓迎会
- 15日 日・ベトナムF T A 産業協力対策チーム会議

今後の会議予定

- ☆ 第19回貿易・投資円滑化ビジネス協議会
10月26日(月) 14時 於 機械振興会館
- ☆ TOKYO FIBER展実行委員会
10月27日(火) 15時30分 於 繊維会館
- ☆ 第26回伝統工芸品月間国民会議全国大会
10月28日(水) 12時 於 みやこめっせ
- ☆ 繊維産業流通構造改革推進協議会 第10回経営トップ合同会議
10月29日(木) 14時 於 東京TFTビル
- ☆ 第23次日韓織産連 年次合同会議
11月 5日(木) 10時 於 帝国ホテル大阪
- ☆ 蚕糸絹業情報連絡会議
11月 6日(金) 14時 於 蚕糸会館
- ☆ 大日本蚕糸会蚕糸功労者表彰式
11月10日(火) 14時 於 東京会館
- ☆ インテリアファブリックス協会創立30周年記念式典
11月11日(水) 13時15分 於 東京ビッグサイト
- ☆ 第38回繊維通商問題研究会
11月17日(火) 14時30分 於 繊維会館
- ☆ 日本繊維倶楽部臨時総会
11月17日(火) 12時 於 アルカディア市ヶ谷

イベント

- ☆ 第1回染織文化博覧会
10月21日(水)～28日(水)
会場：日本橋高島屋、日本橋三越本店、日本橋プラザなど日本橋界限周辺エリア
- ☆ YONEZAWA TEXTILE COLLECTION
10月21日(水)～22日(木) 13時～
会場：青山TEPIA
- ☆ 桐生テキスタイルコレクション2010
10月22日(木)～23日(金) 13時～
会場：青山TEPIA
- ☆ 第2回「西陣金襴」表装裂地展
10月24(土)～25日(日) 10時～
会場：みやこめっせ
- ☆ 館林つむぎ宣伝会
10月26日(月)～27(火) 10時30分～
会場：ぐんま総合情報センター
- ☆ きものサミットIN京都
10月29日(木) 11時30分～13時
会場：西陣織会館 3階ホール